

●第180号(二〇一七年三月) 特集 震災に対する横浜の備え

- 1 はじめに 特集のねらい 編集部
2 対話・震災に対する備え 自助、共助の観点から 大木聖子、立花正人
3 東日本大震災以降の横浜の取組 小森勤
①危機管理アンケート調査結果について
②横浜市防災計画「震災対策編」の修正について
4 自助・共助・公助に関する取組 市民の防災力向上に向けて 和知治
①防災啓発パンフレットの作成・配布 小森勤
②横浜市民防災センターにおける自助・共助の普及啓発 宮川淳一
③住宅の耐震化を促進するための取組と今後の展開 兩宮寿親
④横浜市の地震火災対策 燃えにくいまち・燃え広がりやすいまちへ 森隆行
〈コラム〉地震による火災はこれで防ごう 感震ブレイカー 亀若智洋
〈コラム〉防災分野での国際協力 3F(ファイリピン・イロイロ)市での取組から 川口リ子
5 自助・共助・公助に関する取組 来街者、帰宅困難者に対する備え 日比野徹、安井豪
6 自助・共助・公助に関する取組 福祉、医療に関する取組
①地域ぐるみで災害対策 災害時要援護者支援の取組 角皆奈央子
②災害医療体制の強化 吉元景
7 自助・共助・公助に関する取組 地域での活動 瀨下英祐
①地域防災拠点運営委員会への支援
②自助・共助の取組を進めている地域の方に何う 花塚公祐
③平安町町会
④一本松まちづくり協議会
⑤グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会 防災委員会
⑥河西英彦、米岡美智枝、横山清文、今井智子
⑦横浜災害ボランティアネットワークについて 吉野智洋
⑧被災者支援から感じた課題を中心に 三村英明、三浦大
⑨消防団の取組 西勝
⑩地域の初期消火力向上に向けた取組 大西勝
⑪横浜市水道局における震災対策 自助による飲料水の備蓄と共助による応急給水 寶子山豊
8 自助・共助・公助に関する取組 行政が取り組む備え
①公助の取組の実態 和知治
②横浜市の自衛隊との連携強化2016 三原光明
9 熊本地震で見いだされた新たな課題や望まれる支援
①熊本地震等の避難者対応から考える、首都直下地震への備えについて 石川永子
②レポート 熊本地震派遣職員報告会の内容を受けて 大矢直
10 自助・共助を支える行政の役割 鈴木卓、和知治
〈調査研究レポート〉
①横浜市の地域医療構想 1年を重ねても安心して医療を受けられる横浜に 高橋幸男
②慢性期病床の機能向上及び病床転換における行政支援に関する考察 松村健也
総目次

●第181号(二〇一七年十二月) 特集 共生社会を考える 障害者差別解消の取組から

- 1 はじめに 特集のねらい 編集部
2 座談会 これまでの市の取組を振り返って 松島雅樹、山下優子、石渡和実、内嶋順一、柏崎誠
3 障害者差別解消法の施行と横浜市の取組 嶋田慶一
〈コラム〉障害者差別解消法の制定経過について 宍戸太郎
〈コラム〉数字でみる横浜市の状況① 中村剛志
4 座談会 共生社会を考える 何が求められているのか 池田信義、井上良貞、佐藤秀樹、和田千珠子、清水龍男、嶋田慶一
5 各区局の取組から
①聴覚障害のある方などを対象としたエレベーターの工夫 携帯電話のメールを活用して、より安全、安心に 荒明大輔
②区役所窓口における手話通訳対応の充実 打木真理、松浦拓郎
③障害者差別解消法に関する職員研修の取組 清水晋
〈コラム〉数字でみる横浜市の状況② 中村剛志
④障害者との協働による災害時要援護者支援啓発活動について 大木桂子、高嶋美穂子、栗竹史明
⑤障害者施設と連携した街区表示板点検・補修の取組 関弥生子
⑥「わたしは街のパン屋さん」の取組を通して 焼ききたてのパンはいかがでしょうか 水口茜、大越恵
〈コラム〉障害のある人とのコミュニケーション 知的障害のある委員の会議への参加から 奈良崎真弓、永田孝、健康福祉局障害企画課
6 座談会 障害のある人となん人との交流を通じた新たな試み ONO LIFE プロジェクト進行中! 近藤絵美、小林由香里、前田昌宏、古川実利、太田未来、西上ありさ
7 横浜市の人権施策とは 北川隆範
8 福祉のまちづくり条例と障害者差別解消法 山田和子
9 これまでの障害者施策と障害者差別解消法 米澤宏彰
10 職場における障害のある職員への配慮
①知的障害者嘱託雇用の受入れ職場を訪ねて 石川葉月、浜田晶子、渡辺悠司、高木静男、岩間梓、江原剛、編集部
②今すぐできる配慮がある 聴覚障害のある職員と共に働く 萩原昌子
11 ヨコハマ・パラトリエンナレ2017を通して 栗栖良依、編集部
12 ウィルチエアーラグビー(車いすラグビー)チーム「横濱義塾」 更なる盛り上がりに向けて 月村安孝、山内翔太、藤井美佑紀
13 座談会 相談対応を考える 須山優江、大羽明明、鈴木敏彦、江原顕
〈調査研究レポート〉

サンディエゴ市における性的少数者支援 迎真里奈 総目次

●第182号(二〇一八年三月) 特集 データ活用による現在のところから

- 1 座談会 自治体におけるデータ活用のあり方 村上文洋、山中竹春、岩崎学、小林一美
2 「データ活用」を取り巻く環境の現在
①いま、なぜデータ活用が求められるのか 社会の変化と国の取組 内閣官房情報通信技術(ICT)総合戦略室
②横浜市を取り巻く状況とデータ活用の現在 編集部
3 横浜市における取組
①エビデンスに基づく政策推進に向けた医療ビッグデータの活用 大山敏平
②データに基づく経済政策の展開 土屋秀子
③地域課題解決に向けた保土ヶ谷区版GISプラットフォームの取組 鈴木達也
④住民と共有・活用するデータ 瀬谷区地区支援を例に 松岡文和
⑤港北区におけるデータ活用の取組 大屋正信、亀田裕佑
⑥データ活用を支える取組 編集部
〈コラム〉横浜市市民データ活用推進基本条例の制定 編集部
〈コラム〉横浜市立大学(YCU) x データサイエンス YCUデータサイエンス学部が社会をリードする 編集部
4 他都市に見るデータ活用の取組事例 中川雅也
①神戸市におけるデータ活用の取組
②佐賀県における統計データ等の利活用の取組について 佐賀県統計分析課
5 地方自治体の政策形成におけるデータ活用事例 津田広和
6 自治体におけるデータマネジメントの未来像 福田次郎
7 職員座談会 「職員から見たデータ活用の課題とこれから」 藤田豊、福島優、松岡文和、山中研、青野実、北聡子 編集部
8 おわりに 編集部
総目次

編集後記

今回の発行に当たっては、浦井先生をはじめ、市民推進会議の委員の方々、地域において活動をされている方など、多くの皆様にご協力いただきました。また、環境創造局政策課をはじめみどりアップ推進部や関係部署の方々には原稿の執筆など、多大な御協力をいただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。あらためてお礼申し上げます。(小川)

今回の調査季報の作成に関わらせていただく中で、いつも何気なく身近にあるまちの緑は、守り育てていこうとする人たちの思いや様々な活動によって支えられていることを学び、緑がある生活は当たり前というのを改めて感じさせていただきました。(雨宮)

編集・発行 横浜市政策局政策課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL. 045-671-2028 FAX. 045-663-1225

2019年3月発行 ISSN0387-8899 印刷/有限会社 ハマ印刷 500円(消費税込み)